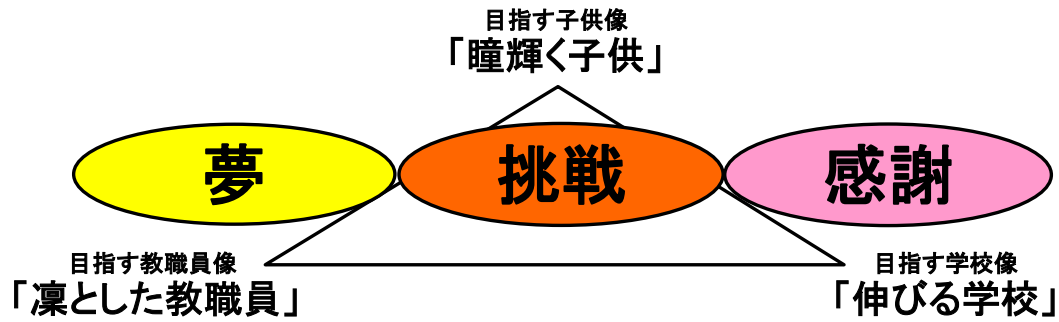


令和4年度(2022年度) 玉名教育事務所教育指導の重点



『共通実践』・『取組の検証』

夢を実現する教育

知 「確かな学力」の育成	徳 「豊かな心」の育成	体 健康・体力の向上
<p>1 「熊本の学び」の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「熊本の学び」の四つの基本方針を踏まえた各学校の特色ある取組を推進する。 ○ 子供たち誰一人取り残さない学びの保障と教員一人一人の授業力向上に向けて、「熊本の学び」アクションプロジェクトを踏まえた各学校の特色ある取組を推進する。 <p>2 英語教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 英語が「好き」「分かる」児童生徒の育成に向けて、言語活動の充実及び基礎的・基本的事項の確実な習得を図るため、小中が連携した授業改善を推進する。 ○ 中学校卒業時におけるCEFR A1レベル(英検3級相当)の英語力を身に付けるため3年間を見通した計画的な取組を推進する。 <p>3 幼・保等、小、中連携の円滑な接続の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ スタートカリキュラム等について、幼稚園等と小学校間で意見交換するなど、「幼児期の終わりから小学校入学への『円滑な接続』に向けたくまもとスタンダード」等を活用した取組を推進する。 ○ 小・中・高等学校を通して学ぶことと自己の将来のつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付けていくために、キャリア・パスポートの活用を推進する。 	<p>1 いじめ・不登校・問題行動の未然防止と早期対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校総体として、魅力ある学校づくり、自己有用感や自己肯定感を感じられる居場所づくりを推進する。 ○ 外部専門家と連携を図り、不登校の早期対応に努め、一人一人の社会的な自立を目指す。 ○ 人間関係を形成していく能力や立場や意見の異なる他者を理解する能力など、いじめを未然に防止するための資質・能力を育む教育を推進する。 <p>2 道徳教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自己を見つめ、物事を(広い視野から)多面的・多角的に考え、自己(人間として)の生き方について考えを深める道徳科の授業を推進する。 ○ 「熊本の心」や「つなぐ～熊本の明日へ～」等を活用した授業の公開及び家庭や地域との連携による道徳教育を推進する。 <p>3 子供の可能性を最大限に伸ばし、自立と社会参加に向けた指導・支援の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ユニバーサルデザインの視点に基づいた誰もが分かりやすい授業づくりや障がいの特性に応じた指導の工夫に努める。 ○ 進級や進学等に際しては、「個別的教育支援計画」による確実な引継ぎを行い、合理的配慮の提供とともに適切な指導及び必要な支援を行う。 	<p>1 安全教育及び安全管理の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校安全計画及び危機管理マニュアルを見直すサイクルを構築するとともに、系統的・体系的な安全教育及び組織的な安全管理の充実を図る。 ○ 防災主任の役割を明確にするとともに、「学校防災教育指導の手引」を活用し、地域の災害リスクを踏まえた実践的な防災教育及び避難訓練等を実施する。 ○ 災害発生後の児童生徒等の心のケアの充実を図る。 <p>2 学校体育の充実と体力の向上に向けた取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 体育・保健体育の授業を一層充実させるとともに、学校の教育活動全体を通じて体力の向上を図る。 ○ 適正な運動部活動及びスポーツ活動を推進するとともに、学校と地域が連携した持続可能な運動部活動の充実を図る。 <p>3 健康教育の充実と保健・給食管理の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生涯にわたる健康的なライフスタイルの実現に向けて、学校における食育及び心身の健康の保持増進に関する指導に係る健康教育の充実を図る。 ○ 健康的な生活を支えるための適正かつ計画的な保健管理及び給食管理の一層の推進を図る。

子供たちの学びを支える魅力ある学校づくり

<p>1 地域とともにある学校づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 五者連携によるコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進 ○ 学校や地域行事等における子供の参画活動の推進 ○ 多様な地域人材・資源等の活用の促進 	<p>2 教育環境の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教育の根幹に人権教育を据え、児童生徒にしっかりと寄り添い、一人一人を大切にしたい教育の推進 ○ SDGs(持続可能な開発目標)の達成に向け、水俣病問題等を通じた環境教育の推進 ○ 教職員の特別支援教育に係る資質と専門性の向上 ○ 「働き方改革」の推進 	<p>3 教職員の資質向上</p> <p>○ 学校総体による不祥事の根絶</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「認め、ほめ、励まし、伸ばす」教育の実現 ○ 同和問題(部落差別)をはじめとする様々な人権問題についての基本的認識と実践的な指導力の向上 ○ 1人1台端末の環境におけるICT活用指導力の向上(「学校情報化優良校」認定に向けた取組の推進)
---	--	---

児童生徒の安全確保及び学校の安全管理の徹底

人権尊重の精神に立った学校づくり